様式第３３号（その１）

排煙設備標準仕様書

１．排　煙　区　画

設　　置　　階　（階）					
用　　途					
排煙設備を必要とする部分の床面積　（㎡）					
排 煙 区 画 数					
排煙区画の最大床面積　（㎡）					

□　排煙区画の防煙壁は、天井面から下方（　　≧50）cm突き出した垂れ壁とする。

□　防煙壁の材質は、（　　）とする。

２．排　　煙　　口

□　排煙区画の各部分から１の排煙口に至る最大水平距離は、（　　≦30）ｍとする。

□　排煙口は、（□天井面　□天井から下方（　　≦80）cmの壁体）に設ける。

□　排煙口の面積は、（　　）㎡とする。

３．排　煙　風　道

□　排煙風道の材質は、（　　）とする。

□　耐火構造の壁又は床を貫通する部分には、外部から容易に開閉することができる防火ダンパーを設ける。

４．排　煙　機　等

□　排煙機は、排煙口の開放及び起動装置の操作により、自動的に起動するものとする。

□　排煙機は、（　　階　　室）に設ける。

排煙機仕様

製 造 者 名		型　　式	
排 煙 風 量	㎥／min	馬　　力	HP
静　　圧	mmAg		

様式第３３号（その２）

電動機仕様

製造者名		型　　式	
出　　力	kw	電　　圧	V
回　転　数	rpm	極　　数	P

５．起　動　装　置

□　自動起動装置　　□　自動火災報知設備と連動

□　その他（　　）

□　手動起動装置　　□　押しボタン式

□　手動開放装置

□　その他（　　）

□　手動起動装置の操作部は、床面からの高さが（0.8≦　≦1.5）ｍの位置に設ける。

□　手動起動装置の直近の見やすい箇所に排煙設備手動起動装置である旨の表示をする。

６．非常電源及び配線

(1)　非常電源の種別

□　非常電源専用受電設備　　□　自家発電設備

□　蓄電池設備　　□　燃料電池設備

注　非常電源設備仕様書を添付する。

(2)　配線の種類及び施工方法

配線区分／系統区分	電線の名称及び太さ	施　工　方　法
非常電源回路		
起動装置回路		

様式第３３号（その３）

７．添　付　図　書

□　付近見取図	□　建築物の配置図	□　平　　面　　図
□　断　　面　　図	□　立　　面　　図	□　仕　　上　　表
□　排煙口配置図及び構造図	□　配線系統図	□　排煙風道系統図及び構造図
□　配　　線　　図	□　標識板詳細図	□　機器構造図
□　排煙機まわり詳細図	□　非常電源設備仕様書	□　制御回路図
□　排煙機及び電動機の容量計算書	□　風量計算書	□　非常電源容量計算書
□　受電系統図		

８．そ　の　他

(1)　工事中において、設計書と異なる工事をしようとする場合は、工事管理者及び所管消防署の指示を受けて行うものとする。

(2)　工事竣工後、消防職員立会いのうえ、所要の試験及び検査を受けるものとする。

なお、完成検査時、検査の困難な部分については、あらかじめ、所管消防署と連絡をとり中間検査を受けるものとする。